



貼る石材調シート内外装仕上材

ユーネックス
U・NEX

施工マニュアル

Design & Color
High Performance Sheet
U-NEX

Design & Color
High Performance Sheet

施工上の管理体系

ユーネックスの施工における全体的な流れは下の施工管理体系の通りです。ユーネックスの特長と共に、施工方法・施工上の注意点を十分理解頂き、作業を行ってください。

施工上の管理体系

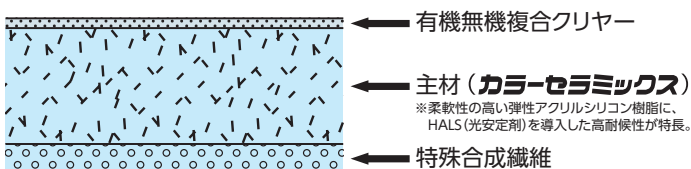
掲載頁

I. 商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックスシートの構成 ●曲面施工について 	P.2
II. 材 料	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックスシート ●副資材 ●保管上の注意事項 	P.3 P.4
III. 施工用具	<ul style="list-style-type: none"> ●下地調整用 ●コーナ成形材用 ●墨出し用 ●目地処理用 ●シート貼り付け用 ●シート切断用 	P.5
IV. 施 工	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">施工計画</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">設計上の注意事項</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●下地調整について ●躯体目地の処理 ●下地補修の程度について ●目地の割り付けと墨出し <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ユーネックスシートの貼り付け</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ユーネックスシートの貼り付けに関する注意事項</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックスシートの貼り付けに関する注意事項 ●目地の仕様別貼り付け施工手順 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">各部位の納め方</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">足場の取外し</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●出隅部 ●役物まわり ●天端（笠木） ●入隅部 ●開口部まわり ●基礎（幅木） ●足場つなぎ部 ●丸柱・曲面 ●施工不可能部位 </div>	P.6 P.15
V. 安全衛生上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ●水系商品対象 ●溶剤系商品対象 	P.15
施工検査	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックス施工検査シート 	P.16

I. 商品概要

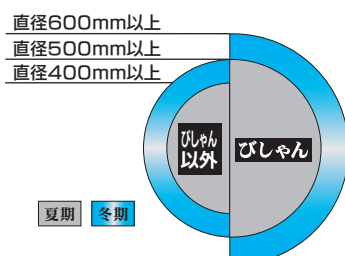
ユーネックスシートの構成

カラーセラミックスをあらかじめ特殊合成繊維上に塗装し、扱いやすいシート状に加工しています。これによって「高意匠」+「扱いやすさ」を実現しています。



曲面施工について

ユーネックスシートは図のような条件において曲面への施工が可能です。但し過度な折り曲げや、曲げたり戻したりの繰り返しは損傷の原因になりますので注意してください。



II. 材料

1. ユーネックスシート

(1)仕様・商品名・荷姿について

商品名	仕様	幅×高さ (mm)	厚さ (mm)	重量(kg/m ²)	枚数 (m ²) / ケース
御影バーナー	標準品	900×600	4.0 (±0.2)	6.12 (±0.5)	5枚(2.70)
		900×450 ※2			10枚(4.05)
		600×450			15枚(4.05)
		600×300			20枚(3.60)
		450×450 ※2			20枚(4.05)
御影びしゃん	標準品	900×600	5.0 (±1.0)	6.5 (±0.5)	5枚(2.70)
		600×450			15枚(4.05)
		600×300			20枚(3.60)
		450×300			30枚(4.05)
御影こたたき 模様注意 ※1	特別仕様 ※3	900×600	4.0 (±0.2)	6.12 (±0.5)	5枚(2.70)
		450×600			15枚(4.05)
		450×300			30枚(4.05)
御影フラット 模様注意 ※1	特別仕様 ※3	900×600	4.0 (±0.2)	6.12 (±0.5)	20枚(3.60)
		900×450			5枚(2.70)
		900×140			10枚(4.05)
		600×450			30枚(3.78)
		600×300			15枚(4.05)
		450×450			20枚(4.05)
砂 岩	標準品	900×600	4.0 (±1.0)	6.12 (±0.5)	5枚(2.70)
		900×450 ※2			10枚(4.05)
		600×450			15枚(4.05)
		600×300			20枚(3.60)
		450×450 ※2			20枚(4.05)
ライム こたたき 模様注意 ※1	特別仕様 ※3	900×600	4.0 (±0.2)	6.12 (±0.5)	5枚(2.70)
		450×600			15枚(4.05)
		450×300			30枚(4.05)
		300×600			20枚(3.60)
ライム フラット 模様注意 ※1	特別仕様 ※3	900×600	4.0 (±0.2)	6.12 (±0.5)	5枚(2.70)
		900×450			10枚(4.05)
		900×140			30枚(3.78)
		600×450			15枚(4.05)
		600×300			20枚(3.60)
		450×450			20枚(4.05)
ラ イ ム	特別仕様 ※3	900×600	4.0 (±0.2)	6.12 (±0.5)	5枚(2.70)
		600×450			15枚(4.05)
		600×300			20枚(3.60)
		450×300			30枚(4.05)
木 目	特別仕様 ※3	450×800	4.0 (±1.0)	6.12 (±0.5)	10枚(3.60)
		220×800			20枚(3.52)

ユーネックスシート

商品名	仕様	幅×高さ (mm)	荷 姿
コーナー成形材 (各種)	-	-	700g/ポリピン
出隅コーナー材 (各種)	特別仕様	内寸100×100×600 内寸100×100×450	10本/ケース

◎コーナー処理は「コーナー成形材」又は「出隅コーナー材」のどちらかの方法となります。

(2)商品別の発注ロット・在庫・納期について

商品名	仕様	色区分	サイズ(mm)	在庫
御影バーナー	標準品	標準色	900×600、600×450、600×300、450×300	在庫品 ※4
		特注色	900×450、450×450	受注生産 ※2
御影びしゃん	標準品	標準色	全サイズ	受注生産 ※2
		特注色	900×600、600×450、600×300、450×300	在庫品 ※4
砂 岩	標準品	標準色	全サイズ	受注生産 ※2
		特注色	900×600、600×450、600×300、450×300	在庫品 ※4
御影こたたき	特別仕様 ※3	標準色	900×450、450×450	受注生産 ※2
		特注色	全サイズ	受注生産 ※2
御影フラット	特別仕様 ※3	標準色	全サイズ	受注生産 ※2
		特注色		
ライムこたたき	特別仕様 ※3	標準色	全サイズ	受注生産 ※2
		特注色		
ライム フラット	特別仕様 ※3	標準色	全サイズ	受注生産 ※2
		特注色		
ラ イ ム	特別仕様 ※3	標準色	全サイズ	受注生産 ※2
		特注色		
木 目	特別仕様 ※3	標準色	全サイズ	受注生産 ※2
		特注色		

◎割付によってはシートのロスが多く発生しますので、サイズ決定の際は注意してください。

◎ユーネックスシートは、主原料がカラーセラミックス（有色陶磁器質骨材仕上塗材）であり、また色調の異なった塗材を組み合わせ塗布加工したものです。そのため、仕上がりの色調やパターンの違いが生じる場合がありますので予めご了承ください。特に追加注文の場合は、ロット変更による色調、パターンの大小、艶等の違いはご了承ください。

◎大面積の施工等で複数のロットを混ぜて施工する場合は、同一ロットのシートを一箇所にまとめて貼り付けず、各ロットを混ぜて貼り付けると自然に仕上がります。※1 サイズの幅×高さの表示において、シートの幅方向(左右)に沿って平行線模様が入っています。割付け時のシートの向きによっては平行線模様が上下方向等になりますので事前にご確認ください。

※2 受注生産となります。受注生産品ならびに各種出隅コーナー材は製造に時間がかかりますので、お早めにご注文ください。

※3 最小ロット100㎡からのご対応となります。(受注生産)

※4 ご注文の集中により在庫切れが生じる場合があります。また100㎡以上のご注文は事前に納期をご確認ください。

●「御影フラット」「ライムフラット」以外の商品は調色が可能です。ただし最小ロット100㎡からのご対応となります。

II. 材料

2. 副資材

(1) 下地調整材

商品名	種類	荷姿	備考
セラ水性シーラーA	アクリルエマルジョン系シーラー	18kg/缶	
セラファイラカチオン(1材)	セメント系下地調整塗材	16kg/袋	

(2) 接着剤

商品名	種類	荷姿	備考
ユーネックスボンド・YA	一液湿気硬化型 エポキシ変成シリコン	18kg/ケース (2kg×9本)	色:グレー (日塗工 N-50近似色)

◎底目地仕様の場合、フレックスマルチ（タイルメント製）で施工する事により目地色を変更する事も可能です。詳しくはお問い合わせください。

(3) 目地材

仕様	商品名	種類	荷姿	備考
底目地仕様	底目地仕様の場合、目地材は使用しません。			
シーリング材 充てん仕様	ボンドMSコーク (コニシ製)	1成分形変成 シリコーン系	333ml カートリッジ/本	
	オートンサイディング シーラント (オート化学製)	1成分形 ポリウレタン系	320ml カートリッジ/本	

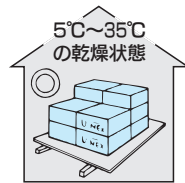
(4) 成形材

商品名	種類	荷姿	備考
コーナー成形材	各色	700g/ポリビン 	
補修用クリヤー	主剤 硬化剤	主剤： 800g/缶  硬化剤： 135g/ポリビン 	

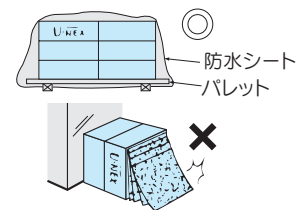
3. 保管上の注意事項

ユーネックスシート（衝撃や過度な折り曲げにより損傷しますので取扱いには注意してください。）

- ①直射日光や高温を避け5℃～35℃の屋内で保管してください。
- ②ダンボール製の箱に包装されているため、出来るだけ乾燥した環境のスペースに保管してください。



- ③やむを得ず、屋外に保管するときは地面に直接置かずパレット等の上に置き、直射日光を避け防水シートで覆い、雨水に見舞われないようにしてください。
- ④必ず水平に積んで保管してください。縦積み・縦並べは変形・損傷の原因となりますので避けてください。



ユーネックスボンド・YA

- ①直射日光を避け容器包装を密閉し5～35℃で涼しく換気の良い場所に保管してください。
- ②ユーネックスボンド・YAのケースに衝撃が加わりますと、箱の内部で接着剤が破損する恐れがありますので慎重に取り扱ってください。
(高さ30～40cmの落下でチューブのリングが外れて内容物が漏出する恐れあり)

Ⅲ. 施工用具

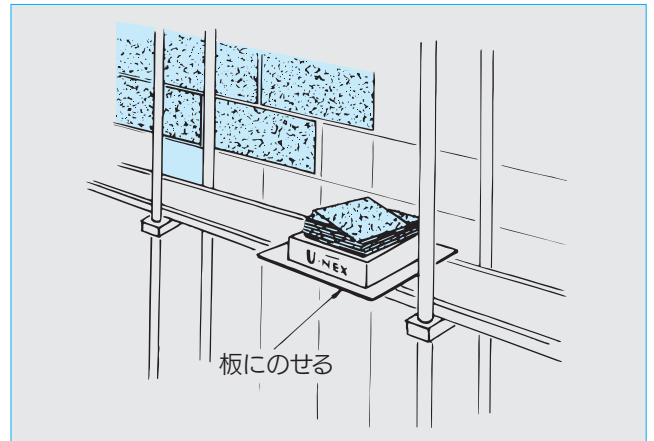
下地調整用		
 金ゴテ	 研磨紙 (#80~100)	 皮すき
		 ハンドミキサー
墨出し用		シート貼り付け用
 割り付け棒	 墨壺 (チョークライン)	 コテ台
 トランシット		 クシ目ゴテ (3mm×3mm幅) 又は クシ目ベラ
 巻尺	 レベルゲージ	 下げ振り
		 スペーサー (目地幅)
		 硬質ゴム製ローラー (金属性ベアリングローラー)
シート切断用	コーナー成形材用	目地処理用
 カッターマット	 コーキングヘラ	 筆※1 A
 カッターナイフ		 コーキングガン B
 金尺	 研磨紙 (#40~60)	 粗面用 マスキングテープ B
 長尺定規		 目地ゴテ (シーリングならし用ヘラ) A、B
 研磨紙 (#40~60)	 筆	 ヘラ B
	 刷毛	A…底目地仕様、B…シーリング材充てん仕様

※1 平筆・画筆6号 (大塚刷毛製造 例①豚毛画筆 例②シマ毛画筆等)。穂幅: 6~8mm (毛と金属の付け根部分)。溶剤で溶けない動物毛タイプを使用してください。

IV. 施工

1. 施工計画

- (1) 施工にあたり、使用するユーネックスシートの仕様、目地模様、仕上工程、下地条件、足場、使用する施工用具等について施工要領を検討し施工計画書を作成してください。また、関連工事との調整を図る事が必要です。
- (2) 施工面積、部位、目地模様と意匠、形状、難易度による工期を設計図と検討し工程管理を行ないます。その場合、施工計画書の仕様に対応した工期が適正であるかどうか、また他の工事との施工順序に問題点はないかどうかをチェックし、手もどりのないようにしてください。
- (3) 周囲の他の工事によって施工に都合の悪い場合、または貼り付け部分に損傷を受けるおそれのある場合は、該当する他の工事との調整をはかる必要があります。
- (4) 作業足場は、労働安全衛生規則に準拠してください。ユーネックスシートは、直接足場板の上に置くと落下や折れ曲げ破損の原因となりますので、必ずユーネックスシートのサイズより大きめの板にのせて置いてください。



(5) 施工計画書(施工計画立案時の主な確認項目)

(a) 仕様・材料明細・施工器具

接着剤の製品名(種類)・色調・数量。
シートの商品名・色調(品番)・寸法・数量。割付図面との整合性。
コーナー成形材の商品名・色調(品番)・寸法・数量。補修用クリヤーの数量。
目地仕様(底目地仕様またはシーリング充てん仕様)、目地幅・目地色。
シートと接着剤の組合せ(底目地仕様の色調)
シーリング充てん仕様時のシーリング材の商品名(種類)・色調・数量。
各資材の予定使用数量のロス見込み。
施工準備に必要な施工器具の調達。
ユーネックス施工マニュアルの確認。

(b) 工期・納期

シートの供給納期。施工面積(枚数)・在庫出荷または受注生産・納品計画(一括・分納)。
下地調整(使用材料・下地精度・施工及び養生期間)。
シート施工手順(貼り付けていく順序)、実施工期(施工歩掛)
施工部位の確認(役物・開口部等の状況・特殊なシート寸法・出隅折り返しによる施工歩掛)。
シーリング充てん仕様のm数と実施工期。
コーナー処理のm数と実施工期。
検査・補修(シート浮き・汚れ)。
足場解体時の足場つなぎ部分の貼り付け枚数および段取り。
他の工事との工期・工程の調整。

2. 設計上の注意事項

(1) 下地調整について (下地の種類によって、下地調整の塗材と方法が異なりますので、適切な下地調整を行なってください。)

改修下地

- (a) ぜい弱した塗膜の表面および膨れ等をサンダー、スクレッパー等により除去してください。
 (b) 下地のひび割れ部等の補修を行ってください。
 (c) 粉化物、付着物等は、高圧洗浄機を使用し除去・清掃を行ってください。
 (d) 下地調整について

旧塗膜・下地の調査を行い、劣化状況に基づいた適切な処理をしてください。

〈劣化度-I〉…劣化はあまり進行しないで、塗膜がまだ丈夫であり、特に美観のみが要求される時期。(仕上層表面の劣化)

〈劣化度-II〉…劣化がかなり進んだ時期で美観的にも、建物の保護上、機能的な面からできるだけ早く改修をした方がよい時期。(仕上層内部の劣化)

〈劣化度-III〉…すでに著しく劣化が進行して、ただちに改修しないと劣化が下地へもおよぶ状態となっている時期。(下地を含む劣化現象)

下地の種類	前処理	下地調整材	
		商品名	所要量(kg/m ²)
アクリルリシン	劣化度Ⅰ：①クラック補修を行う。②高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅱ：①脆弱な部分の除去及び補修。②クラック補修を行う。③高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅲ：①塗膜を全面除去(90%以上)する。または劣化度Ⅱの方法を行う。	セラファイラー-カチオン(1材)	1.0 ~ 1.5
アクリルスタック			
吹付タイル			
単層弾性塗材			
弾性リシン (JIS A 6021を除く)			
弾性タイル (JIS A 6021を除く)			
石材調仕上塗材			
弾性塗材 (JIS A 6021)	劣化度Ⅰ：塗膜を全面除去(90%以上)する。 劣化度Ⅱ：塗膜を全面除去(90%以上)する。 劣化度Ⅲ：塗膜を全面除去(90%以上)する。		
打放しコンクリート	劣化度Ⅰ：①クラック補修を行う。②高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅱ：①脆弱な部分の除去及び補修。②クラック補修を行う。③高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅲ：①脆弱な部分の除去及び補修。②クラック補修を行う。③高圧洗浄を行う。		
磁器タイル	劣化度Ⅰ：①浮き部分の補修を行う。②高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅱ：①浮き部分の補修を行う。②高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅲ：①浮き部分の補修を行う。②高圧洗浄を行う。		
ペイント	劣化度Ⅰ：①高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅱ：①脆弱な部分の除去及び補修。②高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅲ：①脆弱な部分の除去及び補修。②高圧洗浄を行う。		
窯業系サイディング	劣化度Ⅰ：①高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅱ：①脆弱な部分の除去及び補修。②高圧洗浄を行う。 劣化度Ⅲ：①脆弱な部分の除去及び補修。②高圧洗浄を行う。 フッ素系・無機系の場合は施工できません。		

○改修で施工する場合、必ずセラファイラー-カチオン(1材)で下地調整をしてください。

○下地の段差が大きい場合、セラファイラー-カチオン(1材)で2回下地調整をしてください。(その場合、所要量は3.0kg/m²)

○旧塗膜が無機系で脆弱な場合は、事前にセラエポキシマイルドシーラー(2液)を塗布し旧塗膜を固化してください。

○弾性塗膜、防水塗膜等の改修やシリコン・フッ素・無機の塗膜がある場合はお問い合わせください。

新築下地

下地の種類 ※1	下地調整材	所要量 (Kg/m ²)	備 考
フレキシブルボード			表面の塵埃、粉体は除去・清掃。
けい酸カルシウム板			表面の塵埃、粉体は除去・清掃。(屋内限定)
コンクリート			3mm以上の不陸、巣穴はあらかじめ樹脂モルタルで補修してください。
セメントモルタル			表面がぜい弱な場合、吸い込みが激しい場合は下地調整材を使用してください。
プレキャスト コンクリート部材			表面の塵埃、型枠剥離剤、油脂分、エフロッセンス、基盤から浮き出た添加剤等は、塗料用シンナーで除去・清掃してください。
ALCパネル	セラ水性シーラー-A	0.15~0.2	セラ水性シーラー-Aを塗布後、全面セラファイラー-カチオン(1材)で下地調整してください。
コンクリートブロック	セラファイラー-カチオン(1材)	1.0~1.5	
せっこうボード	—	—	表面の塵埃を除去してください。(屋内限定)

※1 中空押出成形セメント板・金属板、木片入りセメント板、合板、GRC、FRP等の特殊下地についてはご相談ください。

改修下地・新規下地 共通事項

- (a) 凹凸のある下地については平滑に調整してください。下地の精度はP8(2)下地補修の程度についての(c)を参照。
 (b) 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱窯業系サイディング、発泡ウレタン等を使用した断熱工法による外壁等は蓄熱しやすく、この熱の影響や水、湿度、施工時の環境条件等により膨れ・剥がれ・変退色等生じる事がありますのでお問い合わせください。
 (c) タイル洗い用の酸性洗剤、カビ除去用の強アルカリ洗剤(次亜塩素ソーダ)をはじめとした酸性・アルカリ洗剤はクーネックスの表面にかからないよう十分注意してください。表面にかかると変色の原因となります。
 (d) 下地にカビや藻が発生している場合は完全に除去してください。

IV. 施工

(2) 下地補修の程度について

(a) 下地の乾燥状態

コンクリート及びセメントモルタル等、新しい面は夏期14日間、冬期21日間以上乾燥・養生させ、pH=10以下、含水率5%以下(ケット社高周波水分計Hi500、520の場合)で施工してください。

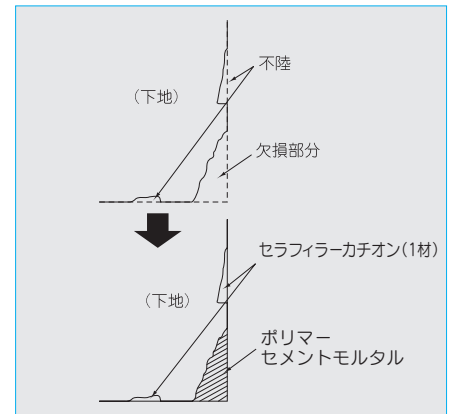
(b) 下地の清掃

表面に付着しているエフロレッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜の汚れ等はブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。油脂等の汚れは、塗料用シンナーで拭き取ってください。

(c) 下地の補修処理

- 下地の不陸、段違い等はサンダーで平らにして調整し、クラック、巣穴、ピンホール、ジャンカ等は左官工法によってポリマーセメントモルタルで補修し、硬化・乾燥を充分に行ってください。(右図参照)
- コンクリートブロック、ALCパネル等の吸い込みの激しい面はセラ水性シーラー-Aで吸水調整後、セラファイラーカチオン(1材)で全面しごき塗りしてください。接着を重視することから、小さな凹凸を作らないよう、金ゴテ仕上げとしてください。
- けい酸カルシウム板等のぜい弱なボード類は、基材の補強が必要であるため、セラエポキシマイルドシーラー(2液)を0.15~0.2kg/m²を塗布した後、乾燥(23℃、2時間以上~3日以内)させてください。
- プレキャストコンクリート部材、中空押出成形セメント板等は表面の塵埃、型枠剥離剤、油脂分、エフロレッセンスを除去・清掃してください。
- ユーネックスシートを接着させる下地の精度は、タイル張り下地と同等の精度としてください。
(コンクリート直張りで3mにつき7mm、左官による下地調整で1mにつき3mm)
出隅、入隅、面の角は、通りにくく打設されている事が必要で、精度がよくない場合は、ポリマーセメントモルタルで補修してください。

不陸、目違い、ピンホール及び欠損部分等の補修図



(d) その他

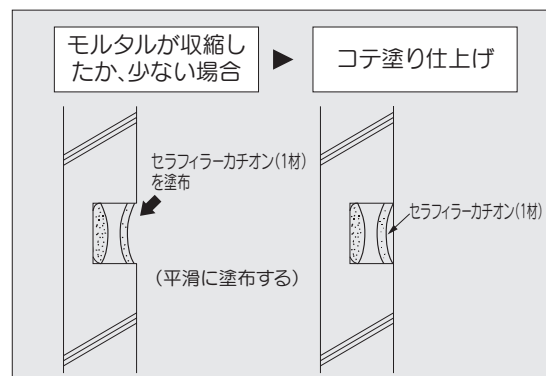
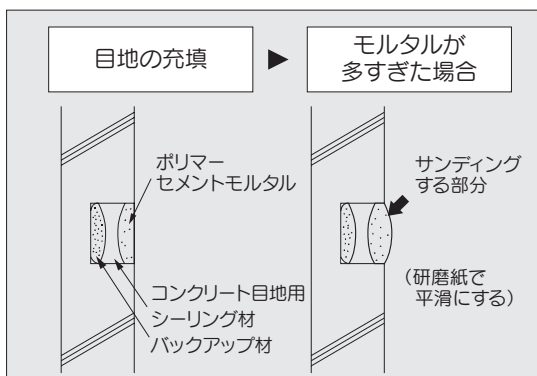
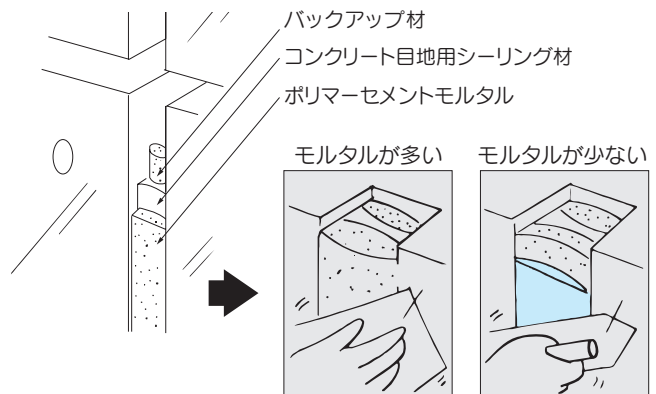
下地の取り付け金具、釘類等は錆が発生しないものを使用してください。

(3) 躯体目地の処理

躯体目地を埋設処理して平坦な下地を作ります。

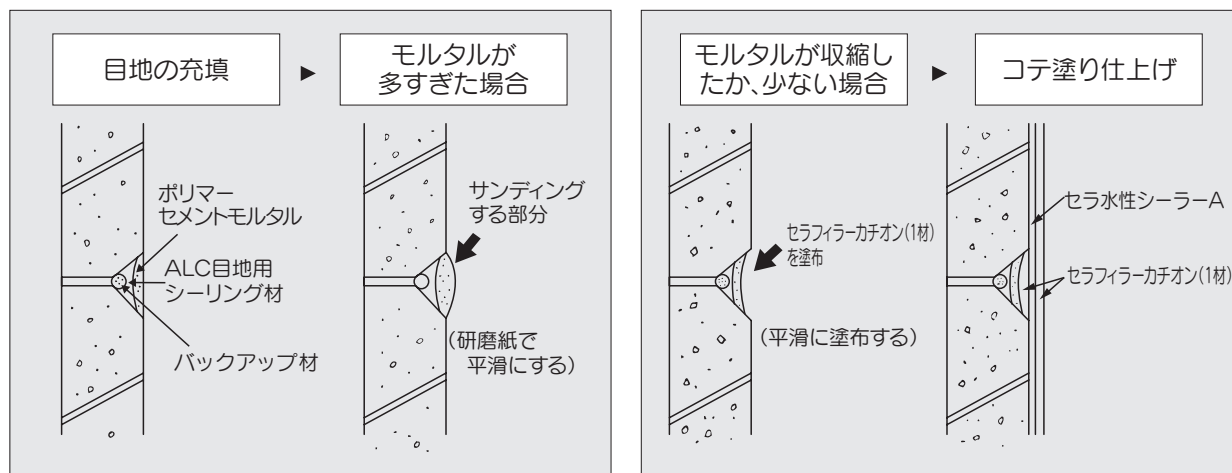
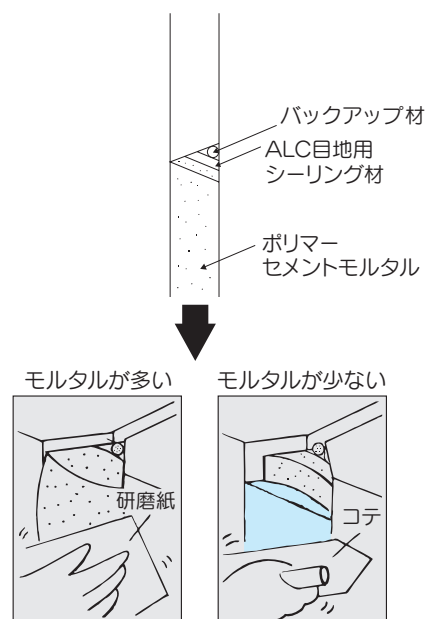
① 打放しコンクリートの目地処理

- 汚れ、付着物を除去してください。
- バックアップ材を挿入してください。
- セラ水性シーラー-Aを塗布してください。
[処理後15分以上経過乾燥後、次工程(d)に移る。]
※セラ水性シーラー-A以外は使用しないでください。
- コンクリート目地用シーリング材を充填してください。
- ポリマーセメントモルタルで目地を埋設してください。乾燥後、研磨紙(#80~100)で平滑にサンディングしてください。また、ポリマーセメントモルタルが不足したり、収縮し過ぎた場合は、セラファイラーカチオン(1材)で平滑に仕上げてください。



②ALCパネルの目地処理

- (a) 汚れ、付着物を除去してください。
- (b) セラ水性シーラーAを塗布してください。
〔処理後15分以上経過乾燥後、次工程(c)に移る。〕
※セラ水性シーラーA以外は使用しないでください。
- (c) ALC目地用シーリング材を充填してください。
- (d) ポリマーセメントモルタルで目地を埋設してください。乾燥後、研磨紙で平滑にサンディングしてください。
※ただし、階ごとの横目地、出隅目地、ALCパネルの一定スパンごとの縦目地、他部材とのとりあい部分等の伸縮目地はシーリングのままとし、ユーネックスの施工はしないでください。
- (e) 壁面全体に、セラ水性シーラーAを0.15～0.20kg/m²塗布してください。
- (f) セラファイラーカチオン(1材)を全面に1.0～1.5kg/m²を塗布してください。塗布は金ゴテ塗りを標準とし、吹き付け塗布した場合は、金ゴテしごきにより仕上げてください。

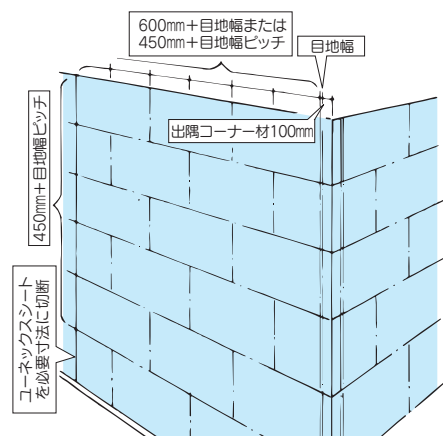


※各種ボード

フレキシブルボード、けい酸カルシウム板の目地を突付けとした場合は、その目違い、くぎ穴等は合成樹脂エマルジョンパテを用いて下地調整してください。

(4) 目地の割り付けと墨出し

- (a) 設計または元請の指示に従い目地割りし、ユーネックスシートの割り付け図をつくってください。
- (b) 設計図面に割り付けがない場合、施主、設計と打ち合わせの上、ユーネックスシートのサイズ、色、割り付け方法、工事仕様等、施工計画書を提出し、必ず承認を得てください。
- (c) 目地幅の寸法は5mm以上としてください。(一般的には5mm～10mm程度。)
- (d) レベルを出してください。
- (e) 下げ振りやトランシットで正確に垂直を出してください。
- (f) 巻尺、墨壺(チョークライン)、割り付け棒等で下地に貼り付け部分と目地幅の図柄を、墨出してしてください。(水平、垂直に基づいた線引き。)



IV. 施工

3. ユーネックスシートの貼り付け

(1) ユーネックスシートの貼り付けに関する注意事項

貼り付けにあたって(底目地仕様・シーリング材充てん仕様共通事項)

(a) 施工環境

- 気温5℃以下または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けてください。
- 下地が十分に乾燥してから施工してください。

(b) 貼り出し

- 基本は壁面の上部から貼り付けてください。左右は基本的に端から貼り付けますが、壁面構造(寸法)や役物の位置により、中央の基準墨から貼る方が貼りやすい場合もあります。
- 下部から上部へ貼り付け作業がある場合、上部作業によってユーネックスボンド・YAが下部のユーネックスシート表面に付着しないよう注意してください。
- ユーネックスシートの貼り方としては①コーナーのある躯体は役物出隅コーナー材を貼り、次に②躯体上端から貼る場合③基準墨出しから貼る場合があります。(この場合、後で貼り付ける上部のユーネックスシートの躯体に塗布したユーネックスボンド・YAが、付着しないように注意してください。)

(c) 貼り付け間隔

- シート間の目地は所定幅のスペーサーを使い、水平垂直が歪まないように間隔を空けて貼り付けてください。

(d) ユーネックスシートの切断

- 墨出しに合った必要なサイズにユーネックスシートを切断してください。ユーネックスシートの裏面からカッターナイフで切り込みを入れ折り曲げて切断してください。研磨紙でユーネックスシートの切断面のバリを取ってください。

(e) ユーネックス・ボンドYAの使用上の注意

- 開封後は3時間程度で使い切り、3時間で使い切らない場合は空気に触れないよう密封しながら当日中に使い切ってください。
- ユーネックスボンド・YAがユーネックスシート表面に付着した場合、乾燥硬化後にカッターナイフやサンドペーパーで削り取り、補修用クリヤーを塗布してください。塗布する時、周辺とのてかり具合をバランスよく仕上げてください。
- 一度壁面に貼り付けたシートの接着性が不十分であった場合、一度シートを剥がしてユーネックスボンド・YAを塗り直してから再度、貼り付けてください。
- ユーネックスボンド・YAのケースに衝撃が加わりますと、箱の内部で接着剤が破損する恐れがありますので慎重に取り扱ってください。(高さ30~40cmの落下でチューブのリングが外れて内容物が漏出する恐れあり)

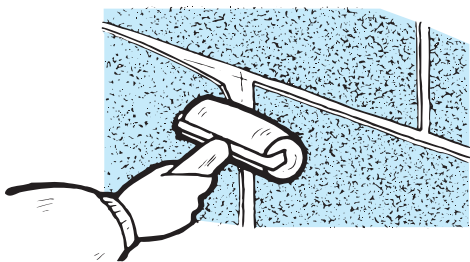
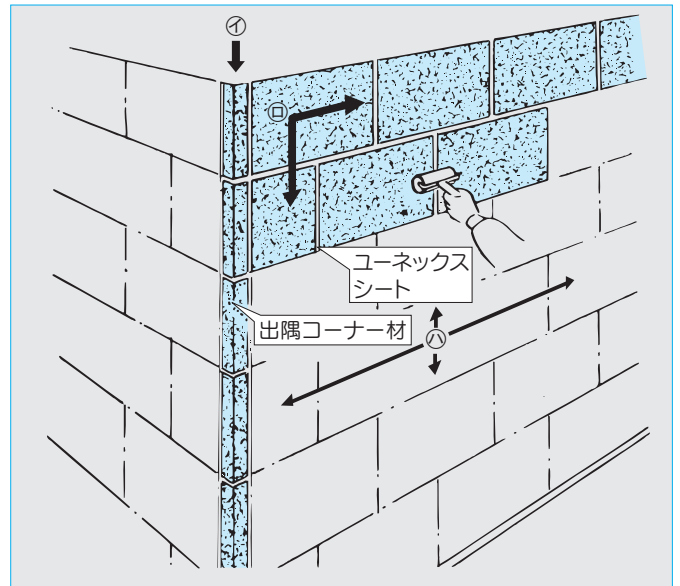
(f) 貼り付け後の点検

● 貼付け直後の点検

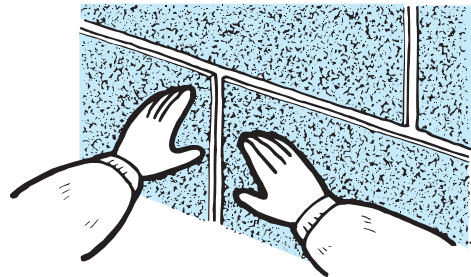
シート貼付け後、数十分放置し、シートのズレや四隅の反り等を目視確認し、浮きや不具合があれば補修してください。目地処理部(底目地仕様・シーリング材充てん仕様)も目地底の塗り残しやシーリング材のはみ出し等を目視確認し、必要あれば補修してください。

貼り付け終了後、接着状態を点検。

目地が通りよく圧着施工されているかの確認と全面の押圧。








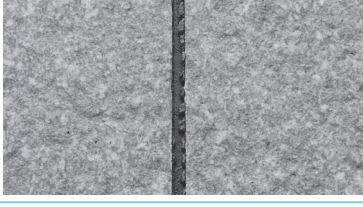

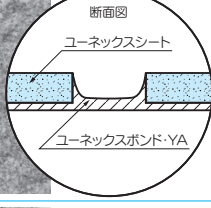
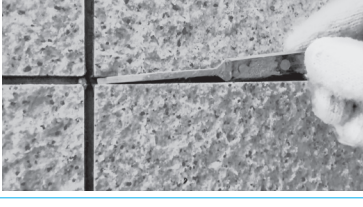
ユーネックスシートに、浮きが生じている場合は、硬質ゴム製ローラーで圧着してください。



ユーネックスシートの接着状態の点検をかねてシートの四隅を両手で強く押圧し、圧着するとより密着します。






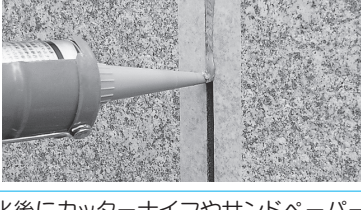
(2) 目地の仕様別貼り付け施工手順

(a) 「ユーネックスボンド・YA」による施工（底目地仕様）

工程	使用材料名	所要量 (kg/m)	使用器具	間隔時間	詳細
接着剤塗布	ユーネックスボンド・YA	1.2~1.5	●コテ台 ●クシ目ゴテ	【夏期】 日当り 15分以内 日陰 30分以内 【冬期】 日当り 30分以内 日陰 60分以内	 <ul style="list-style-type: none"> ●クシ目ゴテでクシ引きし2mm厚程度に塗布。その後、余分な部分はクシ目ゴテでかき取る。 ●クシ山がかすれないように塗布量を加減する。
貼り付け	ユーネックスシート	-	●硬質ゴム製ローラー	0~30分以内	 <ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックスシートの上端部を墨出し線に合せ、シート上部中央の上から下へ空気を残さないように押圧する。
					 <ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックスシートの中央から左右、次いでユーネックスボンド・YAが目地部にユーネックスシートの厚みの1/3程度出るようにやや強くもみ込むような感覚で押さえる。
					 <ul style="list-style-type: none"> ●仕上げは硬質ゴム製ローラーで圧着し、面ならしと目地合わせを行う。この時、ユーネックスシートの周囲にユーネックスボンド・YAがはみ出すので表面につかないように注意する。
目地処理	-	-	●目地ゴテ ●筆	24時間以上	 <ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックスシートの周囲にはみ出したユーネックスボンド・YAをコテやヘラ等で取り除き、平滑にする。平滑の幅が広すぎると隣接するユーネックスシートのユーネックスボンド・YAの量が不足するので注意する。またシートの表面につかないように注意する。
					 <ul style="list-style-type: none"> ●隣接するシートを圧着して貼り付ける。写真のようにユーネックスボンド・YAが少しはみ出す程度が理想。はみ出す量が少ないとシートの端部が浮く危険があり、多すぎると次工程が困難になるので注意。
					 <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●目地幅にあった目地ゴテ（シーリングならし用ヘラ）やシンナーで湿らした筆で、シートの端部（2~3mm程度）にユーネックスボンド・YAが付着するように処理。 </div> </div>
					 <ul style="list-style-type: none"> ●目地が十字に交わる箇所は、ユーネックスボンド・YAが跳ねたようになるので、目地処理の最後に丁寧に押さえるか、乾燥後にカッターナイフ等で処理を行う。

IV. 施工

(b) 「ユーネックスボンド・YA」による施工（シーリング材充てん仕様）

工程	使用材料名	所要量 (kg/m)	使用器具	間隔時間	詳細
接着剤塗布	ユーネックスボンド・YA	1.2~1.5	●コテ台 ●クシ目ゴテ	【夏期】 日当り 15分以内 日陰 30分以内 【冬期】 日当り 30分以内 日陰 60分以内	 <ul style="list-style-type: none"> ●クシ目ゴテでクシ引きし2mm厚程度に塗布。その後、余分な部分はクシ目ゴテでかき取る。 ●クシ山がかすれないように塗布量を加減する。
貼り付け	ユーネックスシート	-	●硬質ゴム製ローラー	0~30分以内	 <ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックスシートの上端部を墨出し線に合せ、シート上部中央の上から下へ空気を残さないように押圧する。
					 <ul style="list-style-type: none"> ●ユーネックスシートの中央から左右、次いでユーネックスボンド・YAが目地部にユーネックスシートの厚みの1/3程度出るようにやや強くもみ込むような感覚で押さえる。
					 <ul style="list-style-type: none"> ●仕上げは硬質ゴム製ローラーで圧着し、面ならしと目地合わせを行う。この時、ユーネックスシートの周囲にユーネックスボンド・YAがはみ出すので表面につかないように注意する。
目地処理	目地材（シーリング材）	-	●目地ゴテ ●筆	24時間以上	 <ul style="list-style-type: none"> ●目地部にはみ出したユーネックスボンド・YAを目地ゴテ（シーリングならし用ヘラ）やシンナーで濡らした筆で平滑にする。
			●マスキングテープ ●コーキングガン ●ヘラ		 <ul style="list-style-type: none"> ●シートの表面にユーネックスボンド・YAがつかないように注意してください。 ●ゴミ・油分等を十分に拭きとった後、目地部分に粗面用マスキングテープをユーネックスシート表面の凹凸に沿って隙間なく貼り、コーキングガンで目地材を充てんする。また目地の表面を凹凸のないようヘラ等で仕上げる。

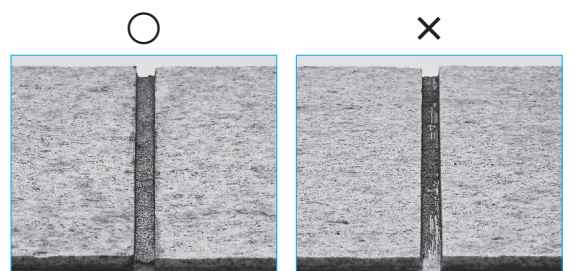
目地材がユーネックスシート表面に付着した場合、乾燥硬化後にカッターナイフやサンドペーパーで削り取り、補修用クリヤーを塗布してください。塗布する時、周辺とのてかり具合をバランスよく仕上げてください。

検査

目地処理作業が終了する前に、仕上げの不良個所の有無を確認します。特に次の点は仕上がりの精度にかかわる重要なポイントなので入念に確認してください。

検査項目（合否基準）

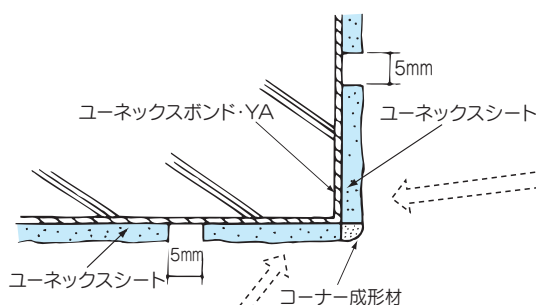
- シーリング材が凹凸なく十分に充てんされているか。
- シーリング材の目地はみ出しがないか。



4. 各部位の納め方 ①又は②の工法で処理してください。

①出隅部コーナー成形材工法

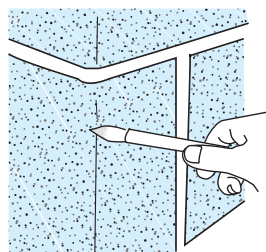
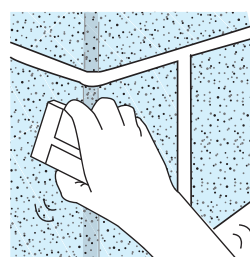
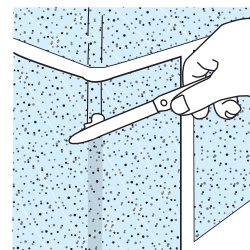
- 多少色違いが生じますのでご了承ください。
- 作業開始前の注意点①
ユーネックスシート表面・目地・出隅部分の粉じんや付着物を除去してください。
- 作業開始前の注意点②
コーナー成形材は、成分が分離している事がありますので、使用前は必ず全体を十分に攪拌してから塗布してください。



カッターマットの上でユーネックスシートを表側から特殊合成繊維を残して切り込みを入れてください。

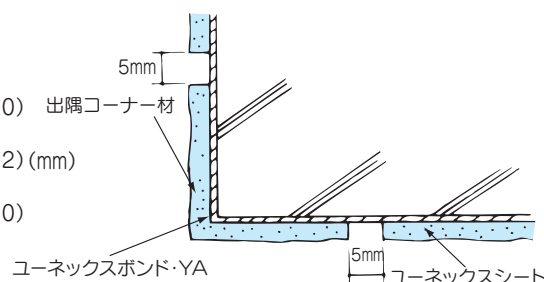
〈コーナー成形材施工手順〉

- 塗りつけ**
コーナー成形材をへらにとり出隅部分に対して、隙間なく十分に塗りつけます。
〔塗りすぎ注意〕
この段階での成形が、後の仕上りにも影響します。材料は乾燥すると若干肉やせします。「仕上げの時に削る」ことを計算にいれておき、この段階では「出隅頂点は盛り上がり気味」になっている方が仕上げが綺麗にできます。塗りすぎやはみ出した部分の材料はへらで掻き取った後、湿らせたウエス等でふき取ってください。
(コーナー成形材1本で10~15m塗布)
- 乾燥**
十分に乾燥させてください。(24時間以上、完全に硬化するまで乾燥させる事)
- 研磨**
乾燥後、粗めのサンドペーパー(#40~60)で余分なバリを除去してください。シート端部の山を削るようにして角を丸めてください。(削り過ぎないように注意)
- クリヤー**
補修用クリヤーを筆・刷毛等で塗布した後、十分乾燥させてください。
〔注意〕
 - 主剤:硬化剤=1缶:1容器の分量で使用。
 - 良くかき混ぜてから塗布してください。
 - 塗りすぎや塗布回数が多いと、塗布部分だけ艶が出て、艶ムラの原因になります。
 - 補修用クリヤーの塗布を省くと、色違いの原因になります。



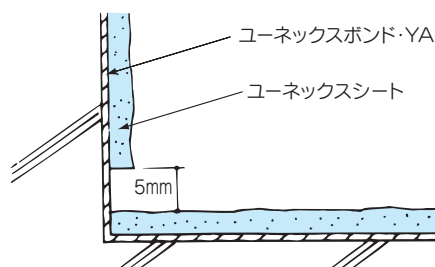
②出隅部役物(出隅コーナー材)工法

長さ、内寸 { 600×幅100×幅100, 450×幅100×幅100 (mm) × 厚さ	御影びしゃん	5.0(±1.0)
	御影(こたたき・パーナー・フラット)	4.0(±0.2)(mm)
	ライム・ライムこたたき・ライムフラット	4.0(±1.0)
	砂岩・木目	4.0(±1.0)



入隅部

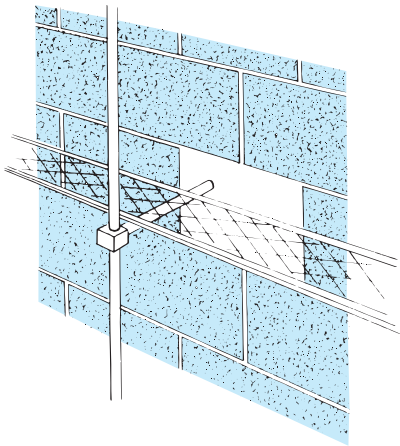
- 入隅部に目地を取り、両側からユーネックスシートを貼り合わせ、目地処理してください。



IV. 施工

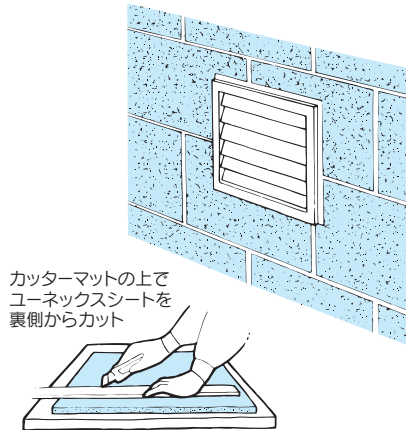
足場つなぎ部

- その部分にあたる一枚分だけを、足場解体時に貼り付けてください。



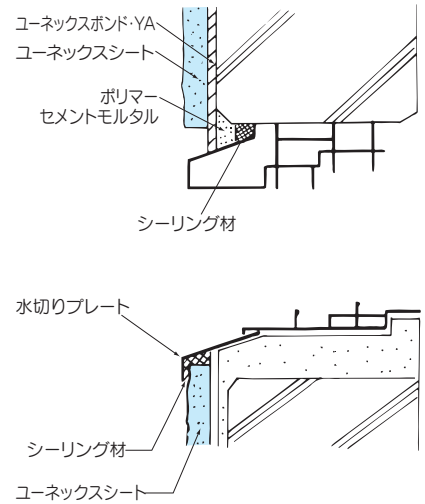
役物まわり

- 役物の形状や大きさに合わせて寸法切りしたものを貼り付けてください。
- カッターナイフによる切断はユーネックスシートの裏側からカットしてください。
- カッターの刃で最後まで切断し、シートを折らないようにしてください。
- 切断時の工具は、金尺や長尺定規を当ててカッターナイフでまっすぐに切断してください。



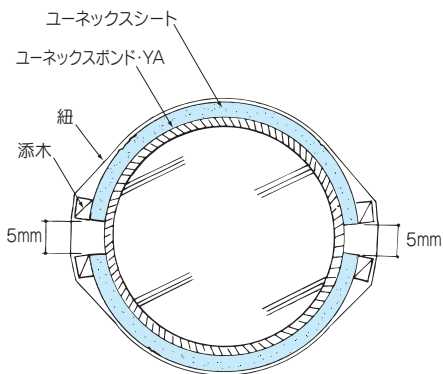
開口部まわり

- 開口部の形状や大きさに合わせて寸法切りしたものを貼り付けてください。



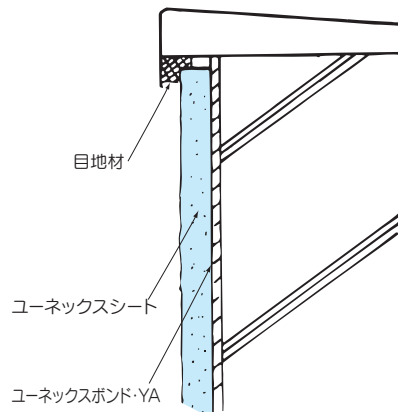
丸柱・曲面

- 丸柱の直径は夏期は400mm以上、冬期は500mm以上(びしゃんタイプは夏期500mm以上、冬期600mm以上)とし、ユーネックスシート端部に添木を当てがった上をさらに紐で縛ってください。(天地の長い場合は3カ所位)



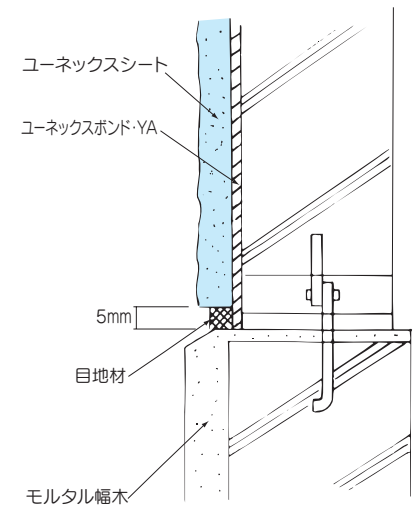
天端(笠木)

- 立ち上がり部位一杯に貼り付けてください。



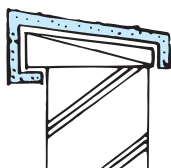
基礎(幅木)

- 幅木部分は施工しないでください。

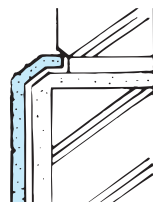


✕ 施工不可能部位

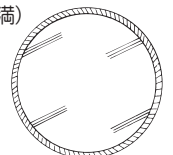
天端(笠木、手すり、セットバック)となる部位



基礎(幅木)部位。



夏期施工：直径400mm未満
(びしゃんタイプは直径500mm未満)
冬期施工：直径500mm未満
(びしゃんタイプは直径600mm未満)
の丸柱、及び曲面。



5. 足場の取外し

- 色調・汚れ・目地・コーナー・変色等、外観を全体を目視点検し、必要な箇所は手直ししてください。
- タイルとの取り合いがある場合、タイル洗い用の酸性溶液がシートに付着するとシート表面が変色するので十分注意してください。

V.安全衛生上の注意事項

水系商品対象

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1.取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用してください。
- 2.取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3.子供の手の届かない所に保管してください。
- 4.塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

緊急時及び応急処置

- 1.容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理してください。
- 2.目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 3.誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。

廃棄上の注意

- 1.中身を使い切ってから廃棄してください。
- 2.廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。

※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照ください。

溶剤系商品対象

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1.火気のある所では使用しないでください。
- 2.塗装中、乾燥中、ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 3.取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、頭巾、保護メガネ、襟巻タオル、保護手袋、前掛け等を着用してください。
- 4.取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 5.子供の手の届かない所に保管してください。
- 6.40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵してください。

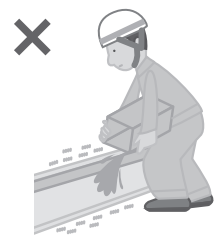
緊急時及び応急処置

- 1.容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管してください。
- 2.目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 3.誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 4.蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 5.皮膚に付着した時には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 6.火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。

廃棄上の注意

- 1.中身を使い切ってから廃棄してください。
- 2.廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。

※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



ユーネックスについては価格表、カタログ等の資料もございます。あわせてご参照ください。

記載の商品は予告なく仕様や取扱いを変更する事がありますのでご了承ください。

施工検査(ユーネックス施工検査シート)

ユーネックスシートの施工完了後、施工に問題がないか検査を行ってください。

(1)施工前検査

分類	検査項目	検査方法	チェック
下地調整	各種下地の種類に適した下地調整がなされているか。	施工マニュアルP7参照	<input checked="" type="checkbox"/>
下地補修	クラック、巣穴、ピンホール、ジャンカ、バリはないか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
	不陸・段差なく平滑か。(下地精度3mm/m以内)	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
下地の乾燥状態	コンクリートやモルタル補修等の新しい面の養生期間は十分か。(含水率・pH値)	作業工程表・水分計・pH計	<input checked="" type="checkbox"/>
足場	適切な足場が設置されているか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
墨出し	基準墨は出されているか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
割付	割付を確定させているか。	割付図	<input checked="" type="checkbox"/>
シート材	ロットが2種類以上ある場合の色調の差、面区切りや、混合が検討されているか。	打合せ記録	<input checked="" type="checkbox"/>
	シートの色、パターン、サイズ等、材料に問題はないか。	目視・スケール・シートサンプル	<input checked="" type="checkbox"/>
資材	施工に供する各材料(接着剤・コーナー成形材・補修用クリヤー)の銘柄・品番・数量が合っているか。	伝票・現物確認	<input checked="" type="checkbox"/>
施工器具	クシ目ゴテ(3mm×3mm幅:または所定の接着剤量を塗布できる器具)、押さえローラー、スペーサー(目地幅)、定板を用意しているか。	現物確認	<input checked="" type="checkbox"/>
その他	他部材の養生はなされているか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>

(2)ユーネックスシート貼付直後検査

分類	検査項目	検査方法	チェック
シート圧着	シート中央部に付着していない空気層がないか。	目視・指触・打診棒	<input checked="" type="checkbox"/>
	シートのズレがないか。	目視・ノギス・レベル計	<input checked="" type="checkbox"/>
	目地の通り、目地幅の均一、目地のレベルは問題ないか。	目視・ノギス・レベル計	<input checked="" type="checkbox"/>
	シートの四隅が浮いていないか。	目視・指触	<input checked="" type="checkbox"/>
底目地ボンド	筆または目地コテにより均されているか、目地底の下地が透けて見えていないか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
	接着剤がシート側面に被っているか。(端部1.5mm以上) ※施工マニュアルP11参照	目視 定規(塗布厚が読み取りやすいもの)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)完成検査

分類	検査項目	検査方法	チェック
意匠	シート表面の汚れ(接着剤・粉塵等)・欠損(欠け・凹み)・切断部のバリがないか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
	決定した割付の通りか。	割付図	<input checked="" type="checkbox"/>
	目地の通り、目地幅の均一、目地のレベルは問題ないか。	目視・ノギス・レベル計	<input checked="" type="checkbox"/>
	シートの色差偏り。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
	出隅の処理具合(コーナー成形材の仕上がり)は良いか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
接着不良	シート中央部に付着していない空気層がないか。	目視(斜光)・打診棒	<input checked="" type="checkbox"/>
	シートの四隅が跳ねていないか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
目地部(底目地)	接着剤のみ出しはないか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
	接着剤がシート側面に被っているか。(端部2~3mm) ※施工マニュアルP11参照	目視・電子膜厚計	<input checked="" type="checkbox"/>
目地部(シール)	シーリング材が凹凸なく十分に充てんされているか。 ※施工マニュアルP12参照	目視・電子膜厚計	<input checked="" type="checkbox"/>
	シーリング材の目地はみ出しがないか。 ※施工マニュアルP12参照	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
その他	他部材との取り合いにシーリング処理がなされているか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>
	マスキングテープの取り忘れや、施工用具の置き忘れはないか。	目視	<input checked="" type="checkbox"/>



ユーネックス
「標準施工仕様書」
「施工工程動画」
等がご覧頂けます。

ご用命は



大阪の元氣!ものづくり企業
2021年受賞



大阪府知的財産部門賞
2021年受賞

山本窯業化工株式会社

お問合せ

東京支店 〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-2 TEL.03-6417-0250 FAX.03-6417-0791
大阪支店 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町10-2-6 TEL.06-6338-8701 FAX.06-6384-0557
広島営業所 〒733-0012 広島市西区中広町2-20-9 TEL.082-291-6200 FAX.082-295-0386
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-2-10 TEL.092-431-3912 FAX.092-471-0295
本社 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町41-20 TEL.06-6338-8601 FAX.06-6338-8606
福岡工場 〒679-2215 兵庫県神崎郡福崎町西治860-5 TEL.0790-22-5090 FAX.0790-22-6474

<https://www.y-y-k.co.jp/>